

第2章 保護者調査の結果

第1節 子どもの携帯電話の利用状況

(1) 携帯電話の所有状況

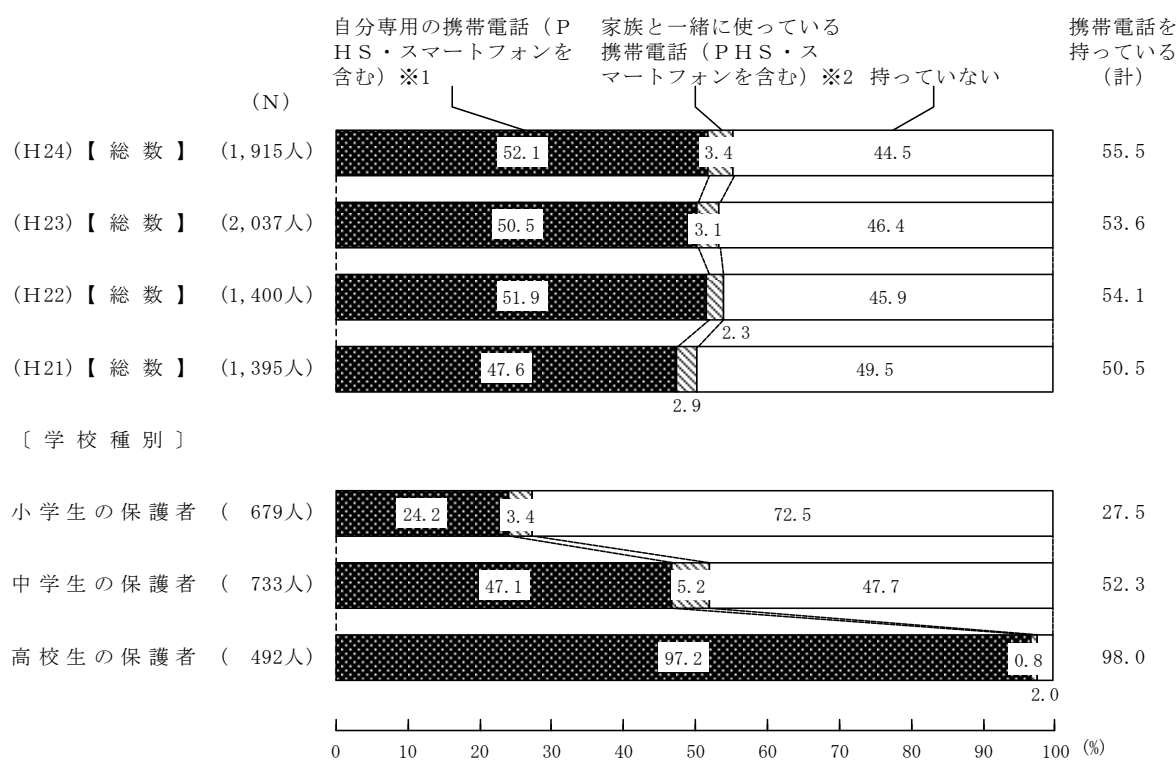
回答した全ての保護者(1,915人)に、子どもの携帯電話(PHS・スマートフォンを含む。以下同じ)の所有状況について聞いたところ、「自分専用の携帯電話」が52.1%、「家族と一緒に使っている携帯電話」が3.4%、「持っていない」が44.5%となり、「自分専用の携帯電話」と「家族と一緒に使っている携帯電話」を合わせた『携帯電話を持っている(計)』は55.5%で、「持っていない」を11ポイント上回っている。

平成21年度以降の調査結果と比較すると、『携帯電話を持っている(計)』は23年度(53.6%)から微増し、21年度(50.5%)からは5ポイント増加している。

学校種別にみると、学校種が上がるほど「自分専用の携帯電話」の所有率が上がり、小学生の保護者では2割台半ば(24.2%)、中学生の保護者では4割台後半(47.1%)、高校生の保護者では9割台後半(97.2%)とほとんどが自分専用の携帯電話を持っている。

図表Ⅱ-2-1-1 携帯電話の所有状況（学校種別）

Q1 【回答票1】 ○○さんは、携帯電話（PHS・スマートフォンを含む。以下同じ）をお持ちですか。この中から1つだけお答えください。



※1 平成23年度以前は「自分専用の携帯電話（PHSを含む）」

※2 平成23年度以前は「家族と一緒に使っている携帯電話（PHSを含む）」

(2) 携帯電話の種類

子どもが「自分専用の携帯電話」又は「家族と一緒に使っている携帯電話」を持っていると回答した保護者(1,062人)に、子どもが所有している携帯電話の種類について聞いたところ、「機能限定携帯電話や子ども向け携帯電話」が23.1%、「スマートフォン」が36.2%、「その他の携帯電話」が40.8%となっている。

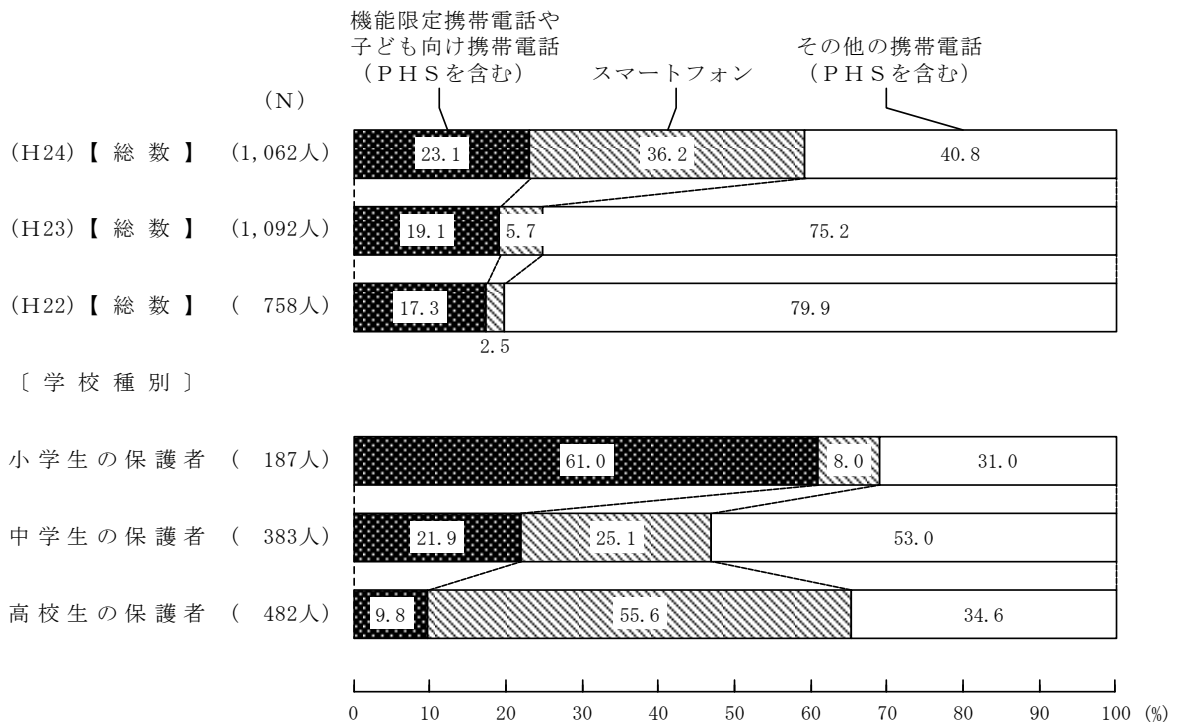
平成23年度の調査結果と比べると、「スマートフォン」が5.7%から36.2%へと急激に伸びている。「機能限定携帯電話や子ども向け携帯電話」も19.1%から23.1%とやや増えている。一方、「その他の携帯電話」は75.2%から40.8%と大幅に減少している。

学校種別にみると、「スマートフォン」は、学校種が上がるほど多くなり、高校生の保護者で5割台半ば(55.6%)、中学生の保護者で25.1%、小学生の保護者で8.0%となっている。「機能限定携帯電話や子ども向け携帯電話」は、学校種が下がるほど多くなり、小学生の保護者で約6割(61.0%)、中学生の保護者で21.9%、高校生の保護者で9.8%となっている。

図表Ⅱ-2-1-2 携帯電話の種類（学校種別）

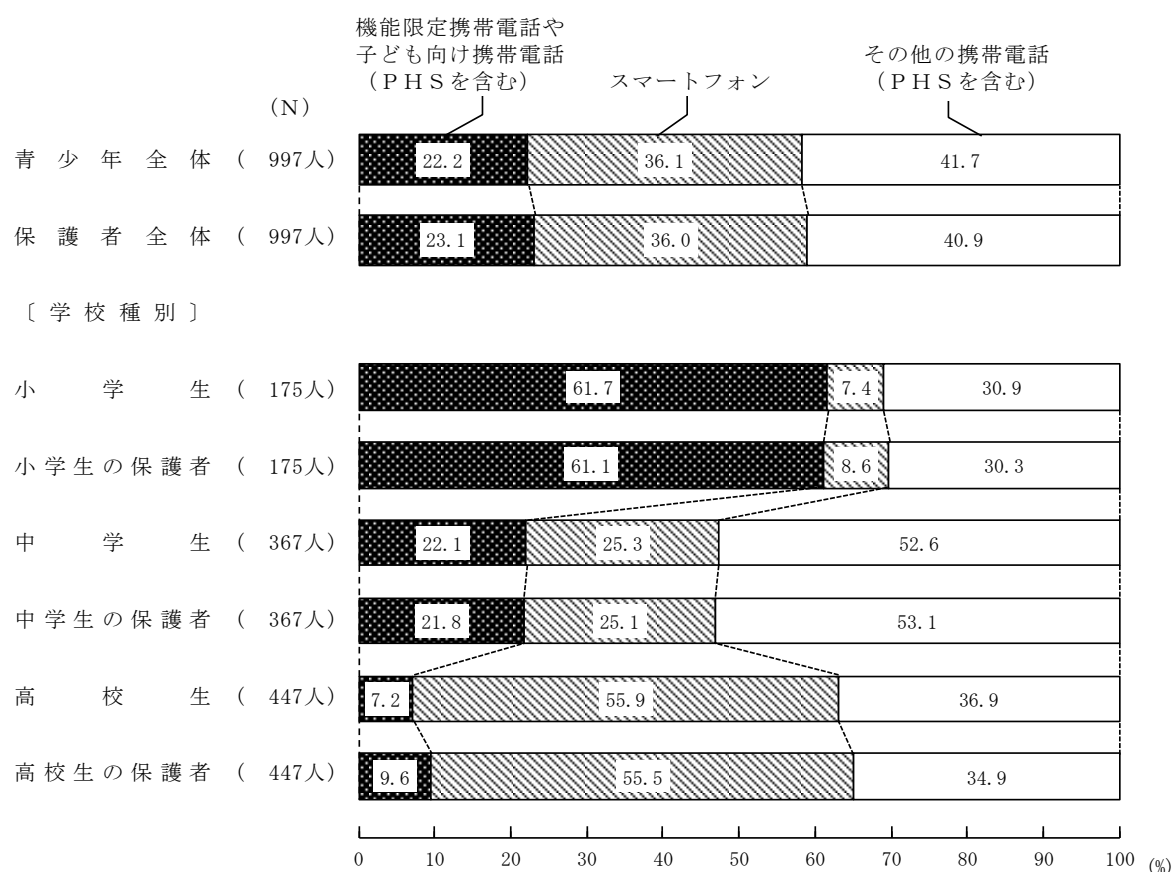
<Q1で「1」又は「2」と答えた方に>
 Q2 【回答票2】 ○○さんが持っている携帯電話の種類はどのようなものですか。この中から1つだけお答えください。
 調査員注：資料（回答票に掲載した説明文、「主な機能限定携帯電話や子ども向け携帯電話等の写真」及び「主なスマートフォンの写真」）をしっかりと見てもらってから、回答してもらうこと

（資料）ここでいう「機能限定携帯電話や子ども向け携帯電話」とは … キッズケータイ（NTTドコモ）、mamorino 2（KDDI（au））、コドモバイル（ソフトバンクモバイル）など、メールを利用できなかつたり、インターネット上のサイトを見ることができない携帯電話（PHSを含む）や、主に子どもによる使用を想定している携帯電話（PHSを含む）
 ここでいう「スマートフォン」とは … MEDIAS（NTTドコモ等）、ISシリーズ（KDDI（au））、iPhone（ソフトバンクモバイル、KDDI（au））、Digno Dualシリーズ（ウィルコム）、GSシリーズ（イー・アクセス（EMOBILE））など、パソコン向けのインターネット上のサイトをパソコンと同じように見ることができ、パソコンと同じような機能を自由に追加できる携帯電話



青少年とその保護者（父母）の双方が『携帯電話を持っている（計）』と回答した 997 組を母数として、携帯電話の種類についてみると、青少年の回答は、「機能限定携帯電話や子ども向け携帯電話」が 22.2%、「スマートフォン」が 36.1%、「その他の携帯電話」が 41.7% である。これに対して子どもが「機能限定携帯電話や子ども向け携帯電話」を持っていると回答した保護者は 23.1%、子どもが「スマートフォン」を持っていると回答した保護者は 36.0%、子どもが「その他の電話」を持っていると回答した保護者は 40.9% となっており、青少年の回答と保護者の認識には大きな差はみられない。

図表Ⅱ-2-1-3 携帯電話の種類【ペア票ベース】



(3) 使い始めた時期

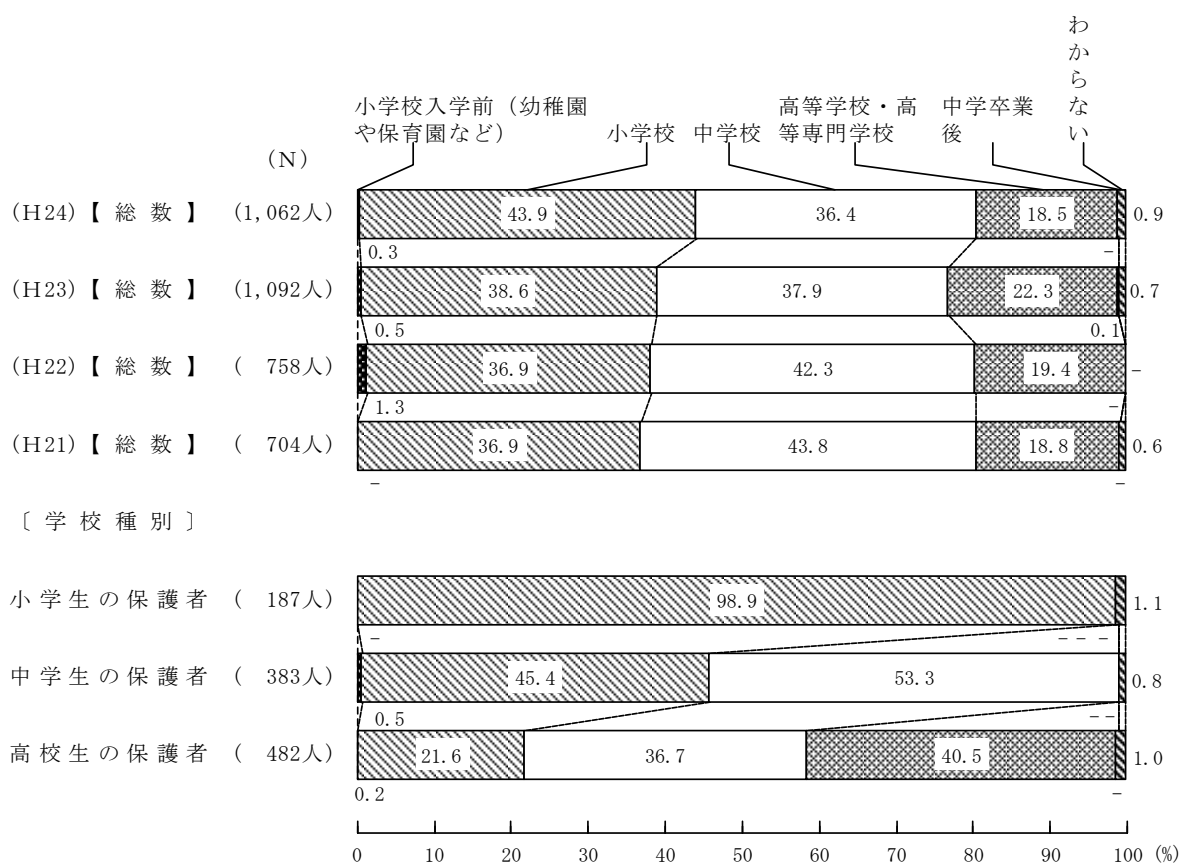
子どもが「自分専用の携帯電話」又は「家族と一緒に使っている携帯電話」を持っていると回答した保護者(1,062人)に、子どもが携帯電話を使い始めた時期を聞いたところ、「小学校」が43.9%、「中学校」が36.4%、「高等学校・高等専門学校」が18.5%となっている。また、「小学校入学前」は0.3%とわずかにみられたが、学校・高等専門学校に通っている場合を除く「中学卒業後」は今回調査ではいなかった。

平成21年度以降の調査結果と比べると、「小学校」は23年度(38.6%)から43.9%と多くなっている。一方、「高等学校・高等専門学校」は減少(23年度:22.3% → 24年度:18.5%)しており、「中学校」も引き続き減少傾向にある。

学校種別にみると、高校生の保護者では「小学校」が21.6%、「中学校」は36.7%、「高等学校・高等専門学校」が40.5%となっている。

図表Ⅱ-2-1-4 使い始めた時期(学校種別)

<Q1で「1」又は「2」と答えた方に>
 Q3 ○○さんが、携帯電話を使い始めたのは何年生の時ですか。
 (使い始めたのが中学卒業後で学校に通っていない場合)では、使い始めたのは中学卒業後何年目でしょうか。
 調査員注:学校の種別を確認し○をした上で、学年を記入すること。なお、「1」の場合は学年を聞く必要はない。



使い始めた学年では、「中学校1年生」(18.9%)が最も多く、次いで「高等学校・高等専門学校1年生」(17.8%)となっており、進学を機に使い始めることが多いようである。

平成21年度以降の調査結果と比べると、「中学校1年生」と「高等学校・高等専門学校1年生」に使い始めることが多い傾向は24年度も引続きある。

図表Ⅱ-2-1-5 使い始めた時期(学年)

	n	総数	小学校入学前	小学校							わからない
				1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生		
平成24年	n	1062	3	49	36	55	106	100	119	1	
	%	100.0	0.3	4.6	3.4	5.2	10.0	9.4	11.2	0.1	
平成23年	n	1092	5	48	24	60	77	106	106	0	
	%	100.0	0.5	4.4	2.2	5.5	7.1	9.7	9.7	-	
平成22年	n	758	10	21	13	36	72	79	59	0	
	%	100.0	1.3	2.8	1.7	4.7	9.5	10.4	7.8	-	
平成21年	n	704	0	17	18	39	63	65	58	0	
	%	100.0	-	2.4	2.6	5.5	8.9	9.2	8.2	-	

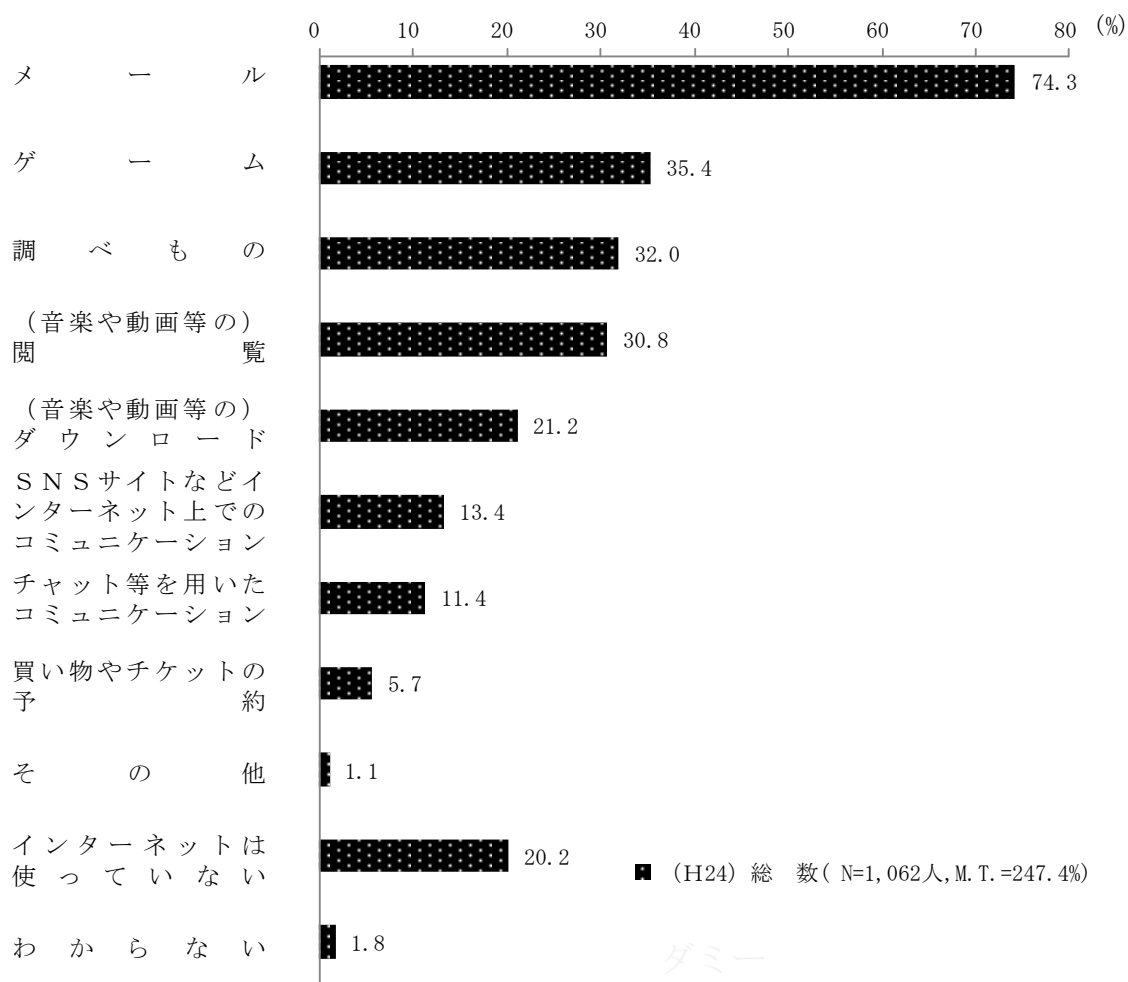
	n	総数	中学校				高等学校・高等専門学校				中学卒業後	わからない
			1年生	2年生	3年生	わからない	1年生	2年生	3年生	わからない		
平成24年	n	1062	201	109	76	1	189	5	2	0	0	10
	%	100.0	18.9	10.3	7.2	0.1	17.8	0.5	0.2	-	-	0.9
平成23年	n	1092	247	85	79	3	240	3	0	0	1	8
	%	100.0	22.6	7.8	7.2	0.3	22.0	0.3	-	-	0.1	0.7
平成22年	n	758	176	79	63	3	144	2	1	0	0	0
	%	100.0	23.2	10.4	8.3	0.4	19.0	0.3	0.1	-	-	-
平成21年	n	704	170	75	62	1	127	5	0	0	0	4
	%	100.0	24.1	10.7	8.8	0.1	18.0	0.7	-	-	-	0.6

(4) インターネットの利用項目

子どもが「自分専用の携帯電話」又は「家族と一緒に使っている携帯電話」を持っていると回答した保護者(1,062人)に、子どもが携帯電話でインターネットを使って何をしていると思うかを聞いたところ、「メール」が最も多く74.3%、次いで「ゲーム」が35.4%、「調べもの」が32.0%、「(音楽や動画等の)閲覧」が30.8%、「(音楽や動画等の)ダウンロード」が21.2%などとなっている。

図表Ⅱ-2-1-6 インターネットの利用項目

<Q1で「1」又は「2」と答えた方に>
Q4 【回答票3】 ○○さんは、携帯電話でインターネットを使って何をしていると思いますか。この中から、あてはまるものをいくつでもあげてください。(M.A.)



学校種別にみると、「メール」は高校生の保護者で9割弱（88.8%）、中学生の保護者の7割台半ば（74.2%）となっている。また高校生の保護者では、「ゲーム」（49.8%）、「調べもの」（48.3%）、「（音楽や動画等の）閲覧」（45.6%）は4割台半ばから5割弱となっており、「（音楽や動画等の）ダウンロード」は3割強（31.5%）となっている。

図表Ⅱ-2-1-7 インターネットの利用項目（学校種別）

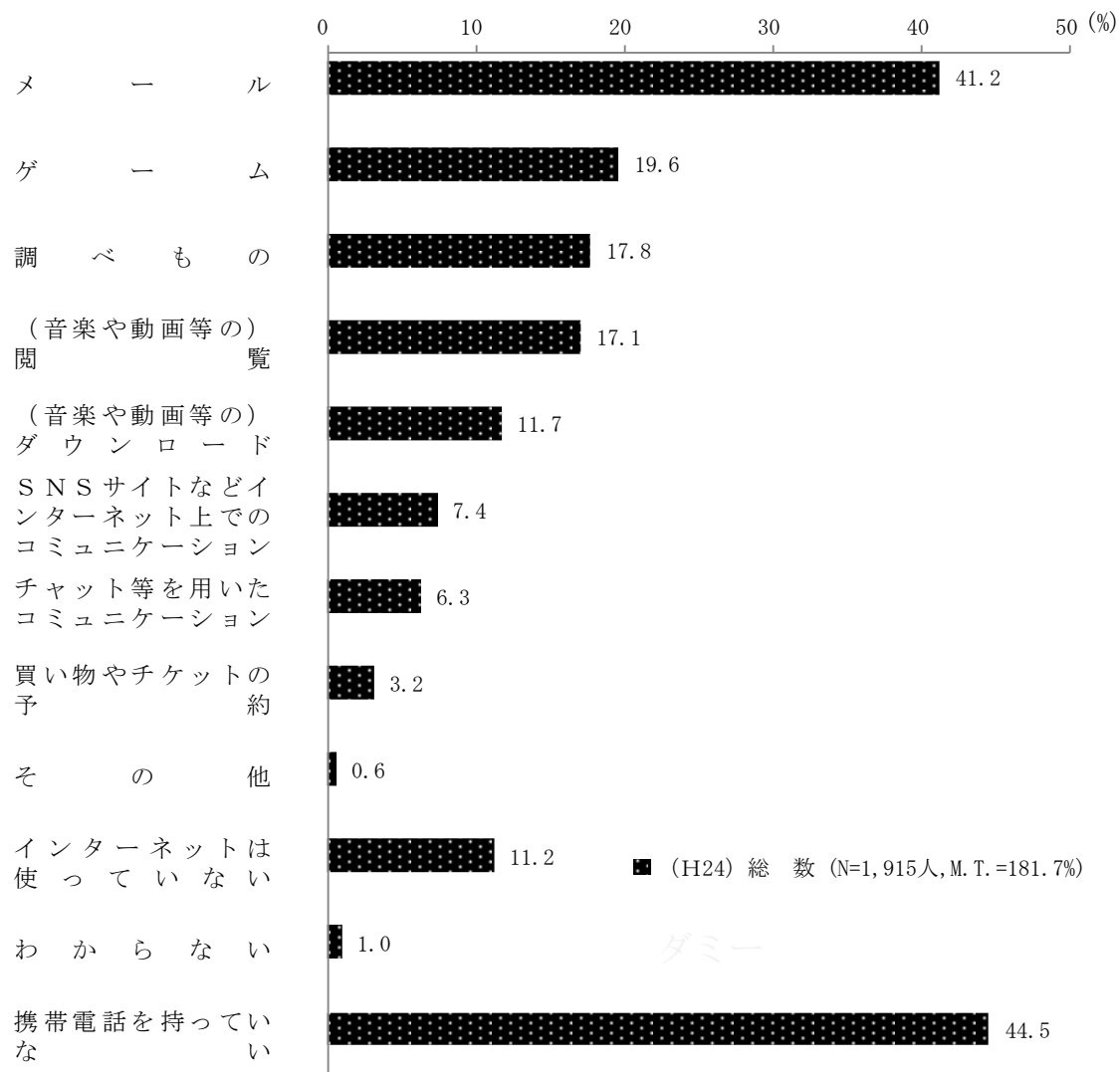
	n (人)	メール	ゲーム	調べもの	(音楽や動画等の) 閲覧	(音楽や動画等の) ダウンロード	SNSサイトなど インターネット上の コミュニケーション	チャット等を用いた コミュニケーション	買い物やチケットの 予約	(計) ※1	(計) ※2	その他	インターネットは 使っていない	わからない
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	1062	74.3	35.4	32.0	30.8	21.2	13.4	11.4	5.7	78.0	57.9	1.1	20.2	1.8
[学校種別]														
小学生の保護者	187	36.9	10.7	5.9	3.7	0.5	1.1	0.5	-	39.0	13.9	-	59.9	1.1
中学生の保護者	383	74.2	28.7	24.0	25.3	17.8	8.4	6.5	2.3	78.1	47.8	1.0	20.9	1.0
高校生の保護者	482	88.8	49.8	48.3	45.6	31.5	22.0	19.1	10.0	92.7	82.8	1.7	4.6	2.7

※1 「携帯電話でインターネット」：いずれかの利用項目を1つでも回答した青少年

※2 「携帯電話でサイト利用」：「メール」を除くいずれかの利用項目を1つでも回答した青少年

子どもは携帯電話を持っていないと回答した保護者を含めた総数（1,915人）でみると、「メール」が41.2%、以下、「ゲーム」が19.6%、「調べもの」が17.8%、「（音楽や動画等の）閲覧」が17.1%、「（音楽や動画等の）ダウンロード」が11.7%などとなっている。

図表Ⅱ-2-1-8 インターネットの利用項目【全数ベース】



学校種別にみると、「メール」は高校生の保護者で8割台後半（87.0%）、中学生の保護者の4割弱（38.7%）となっている。また高校生の保護者では、「ゲーム」（48.8%）、「調べもの」（47.4%）、「（音楽や動画等の）閲覧」（44.7%）は4割台半ばから5割弱となっており、「（音楽や動画等の）ダウンロード」は3割強（30.9%）となっている。

図表Ⅱ-2-1-9 インターネットの利用項目（学校種別）【全数ベース】

	n (人)	メール	ゲーム	調べもの	(音楽や動画等の) 閲覧	ダ(音楽や動画等の)ダウンロード	シ(音楽や動画等の)ネット上でのコミュニケーション	SNSサイトなどインターネット	チャット等を用いたコミュニケーション	買い物やチケットの予約	その他	(計)※1 携帯電話でインターネット	(計)※2 携帯電話でサイト利用	使っていない インターネットは	わからない	携帯電話を持っていない
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	1915	41.2	19.6	17.8	17.1	11.7	7.4	6.3	3.2	0.6	43.2	32.1	11.2	1.0	44.5	
[学校種別]																
小学生の保護者	679	10.2	2.9	1.6	1.0	0.1	0.3	0.1	—	—	10.8	3.8	16.5	0.3	72.5	
中学生の保護者	733	38.7	15.0	12.6	13.2	9.3	4.4	3.4	1.2	0.5	40.8	25.0	10.9	0.5	47.7	
高校生の保護者	492	87.0	48.8	47.4	44.7	30.9	21.5	18.7	9.8	1.6	90.9	81.1	4.5	2.6	2.0	

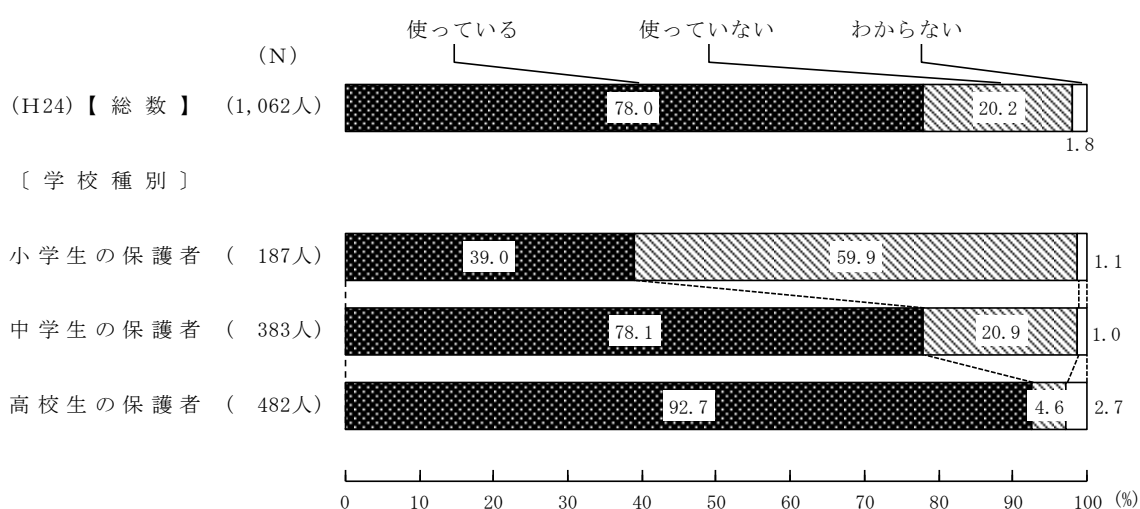
※1 「携帯電話でインターネット」: いずれかの利用項目を1つでも回答した青少年

※2 「携帯電話でサイト利用」: 「メール」を除くいずれかの利用項目を1つでも回答した青少年

子どもは「自分専用の携帯電話」又は「家族と一緒に使っている携帯電話」を持っていると回答した保護者（1,062人）に、子どもが携帯電話でインターネットを使って何をしているかを聞いた結果から、携帯電話でインターネットを『利用している』（いずれかの利用項目を1つでもあげた保護者）は8割弱（78.0%）を占めていることがわかる。

学校種別にみると、携帯電話でインターネットを『利用している』は、高校生の保護者では9割前半（92.7%）を占めている。また、小学生の保護者では39.0%、中学生の保護者では78.1%と学校種が上がるにしたがって多くなっている。

図表Ⅱ-2-1-10 インターネットの利用（学校種別）

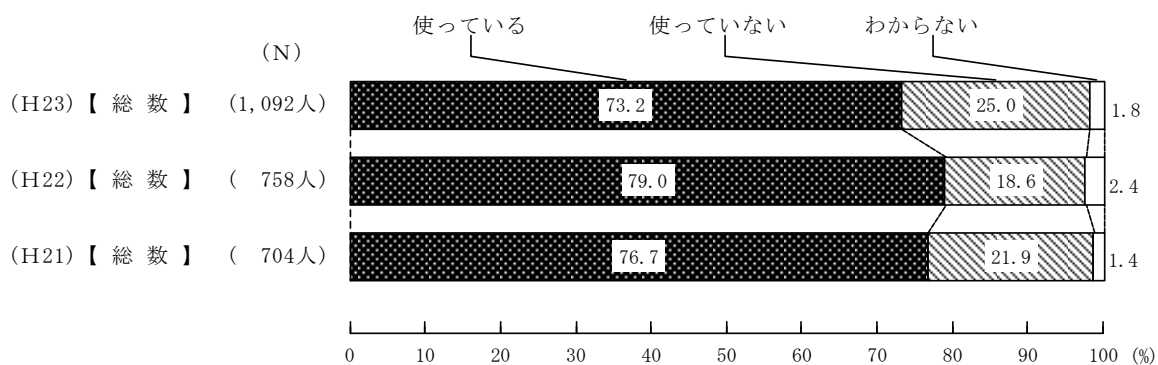


(参考) 平成21年度～23年度青少年のインターネット利用環境実態調査

インターネットの利用

(平成23年度)

Q5 ○○さんは、携帯電話でインターネットを使って (いると思) いますか。ここでいう「インターネットを使う」とは、メールをやりとりしたり、サイトにアクセスしたりすることをいいます。



青少年の携帯電話でのインターネット利用率（第1章第1節（7）（34頁））と、保護者が子どもの利用状況をどの程度認識しているかを比較してみると、『利用している』については、青少年全体が78.2%であるのに対して保護者全体は78.0%と、ほぼ同程度となっている。

学校種別にみると、『利用している』は、いずれの学校種でも青少年と保護者の認識に大きな差はみられない。

図表Ⅱ-2-1-11 インターネットの利用（青少年と保護者の比較）

	n (人)	利用 して いる	利 用 し て い な い	わ か ら な い
	人	%	%	%
青少年全体	1,023	78.2	21.4	0.4
保護者全体	1,062	78.0	20.2	1.8
[学 校 種 別]				
小学生	184	40.8	58.7	0.5
小学生の保護者	187	39.0	59.9	1.1
中学生	372	75.3	23.9	0.8
中学生の保護者	383	78.1	20.9	1.0
高校生	458	95.4	4.6	-
高校生の保護者	482	92.7	4.6	2.7

また、青少年の携帯電話でのインターネット利用率を、携帯電話を持っていない人も含めた全数ベースで比較すると、全体、学校種別とも、青少年と保護者の認識に大きな差はみられないことがわかる。

図表Ⅱ-2-1-12 インターネットの利用（青少年と保護者の比較）【全数ベース】

	n (人)	利 用 し て い る	利 用 し て い な い	わ か ら な い	携 帯 電 話 を 持 っ て い な い
	人	%	%	%	%
青少年全体	1,867	42.8	11.7	0.2	45.2
保護者全体	1,915	43.2	11.2	1.0	44.5
[学 校 種 別]					
小学生	669	11.2	16.1	0.1	72.5
小学生の保護者	679	10.8	16.5	0.3	72.5
中学生	721	38.8	12.3	0.4	48.4
中学生の保護者	733	40.8	10.9	0.5	47.7
高校生	467	93.6	4.5	-	1.9
高校生の保護者	492	90.9	4.5	2.6	2.0

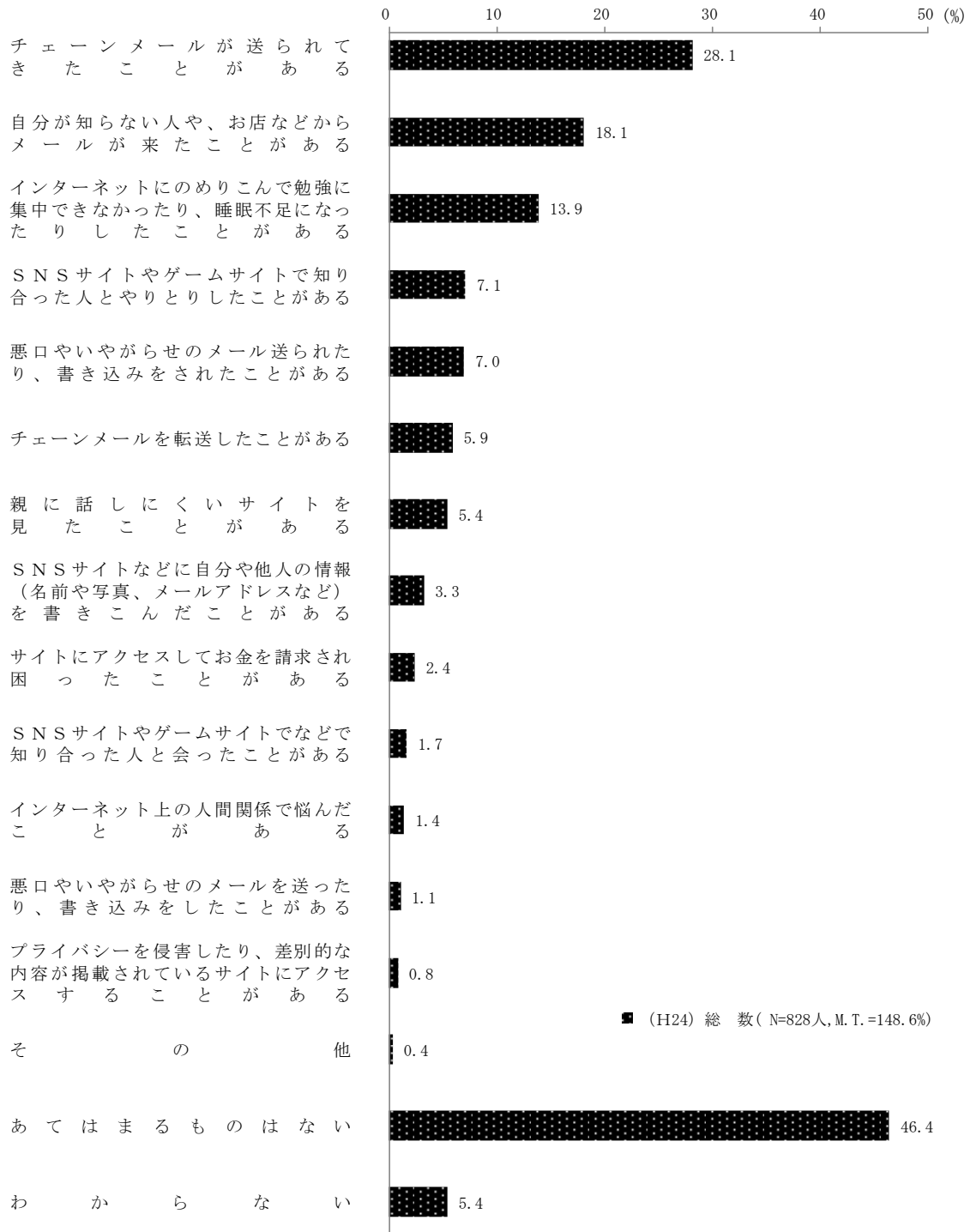
(5) インターネット上の経験

子どもが携帯電話でインターネットを『利用している』保護者（828人）に、子どものインターネット上のトラブルや問題行動に関連する行為の経験を聞いたところ、「チェーンメールが送られてきたことがある」（28.1%）が最も多く、次いで「自分が知らない人や、お店などからメールが来たことがある」（18.1%）、「インターネットにのめりこんで勉強に集中できなかつたり、睡眠不足になつたりしたことがある」（13.9%）、「SNSサイトやゲームサイトで知り合った人とやりとりしたことがある」（7.1%）、「悪口やいやがらせのメールを送られたり、書き込みをされたことがある」（7.0%）、「チェーンメールを転送したことがある」（5.9%）、「親に話しにくいサイトを見たことがある」（5.4%）となっている。一方、「あてはまるものはない」と回答した保護者は4割台後半（46.4%）である。

図表Ⅱ-2-1-13 インターネット上の経験

<Q4で「1～9」のいずれかを答えた方に>

Q5 【回答票4】 ○○さんが携帯電話でインターネットを使っていて、このようなことがあると思いますか。この中から、あてはまるものをいくつでもあげてください。
(M.A.)



学校種別にみると、全体で最も多い「チェーンメールが送られてきたことがある」は、小学生の保護者で12.3%、中学生の保護者で32.8%、高校生の保護者で28.0%となっている。「自分が知らない人や、お店などからメールが来たことがある」は、小学生の保護者で15.1%、中学生の保護者で16.7%、高校生の保護者で19.9%となっている。また、「インターネットにのめりこんで勉強に集中できなかつたり、睡眠不足になったりしたことがある」は、小学生の保護者で4.1%、中学生の保護者で11.0%、高校生の保護者で17.7%と学校種が上がるほど多くなっている。一方、「あてはまるものはない」は学校種が上がるほど少なくなり、小学生の保護者では67.1%であるが、中学生の保護者では47.5%、高校生の保護者では41.8%となっている。

図表Ⅱ-2-1-14 インターネット上の経験（学校種別）

	n (人)	チェーンメールが送られてきたことがある	自分が知らない人や、お店などからメールが来たことがある	インターネットにのめりこんで勉強に集中できなかつたり、睡眠不足になったりしたことがある	SNSサイトやゲームサイトで知り合った人とやりとりしたことがある	悪口やいやがらせのメールを送られたり、書き込みをされたことがある	チェーンメールを転送したことがある	親に話していくサイトを	SNSサイトなどに自分や他人の情報を書きこんだことがある
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	828	28.1	18.1	13.9	7.1	7.0	5.9	5.4	3.3
[学 校 種 別]									
小学生の保護者	73	12.3	15.1	4.1	1.4	2.7	2.7	-	-
中学生の保護者	299	32.8	16.7	11.0	7.4	8.0	7.0	4.0	-
高校生の保護者	447	28.0	19.9	17.7	8.1	6.7	5.6	7.4	6.0

図表Ⅱ-2-1-14 インターネット上の経験（学校種別） 続き

	n (人)	困ったことがある	SNSサイトやゲームサイトで知り合った人と会ったことがある	SNSサイトやゲームサイトで知り合った人と会ったことがある	インターネット上の人間関係で悩んだことがある	悪口やいやがらせのメールを送ったり、書き込みされたことがある	プライバシーを侵害したり、差別的な内容が掲載されているサイトにアクセスすることがある	その他	あてはまるものがある(計)	あてはまるものはない	わからない
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総 数	828	2.4	1.7	1.4	1.1	0.8	0.4	48.2	46.4	5.4	
[学 校 種 別]											
小学生の保護者	73	1.4	-	-	-	-	-	30.1	67.1	2.7	
中学生の保護者	299	1.0	2.0	1.7	1.3	0.3	0.7	47.2	47.5	5.4	
高校生の保護者	447	3.6	1.8	1.6	1.1	1.3	0.2	52.1	41.8	6.0	

(6) フィルタリングの利用

子どもが「自分専用の携帯電話」又は「家族と一緒に使っている携帯電話」を持っていると回答した保護者（1,062人）に、その携帯電話にフィルタリングを使っているかを聞いたところ、「使っている」が55.0%、「インターネットが使えない機種・設定になっている」が8.5%で、両方を合わせた『制限あり（計）』は63.5%となっている。一方、「使っていない」は28.3%、「使っていたが解除した」は2.9%となっている。また、「わからない」は5.3%となっている。

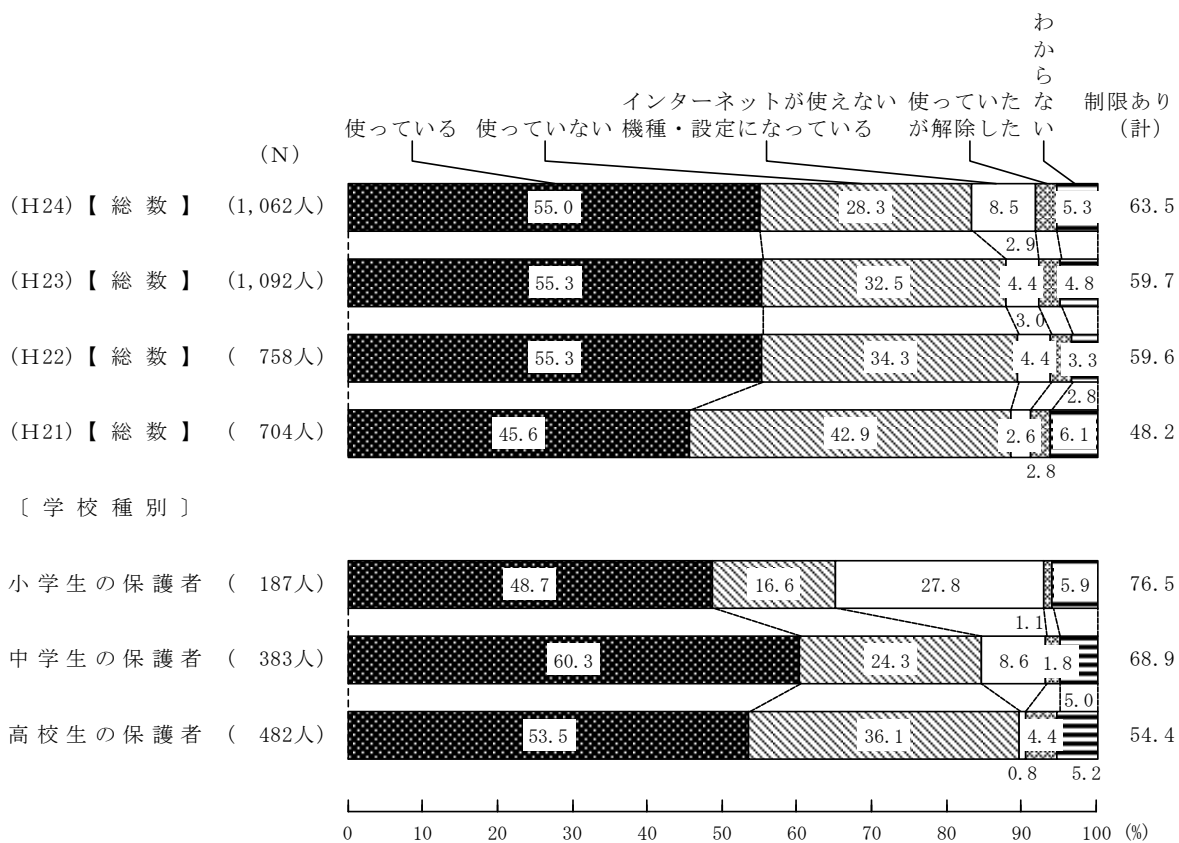
平成23年度の調査結果と比べると、『制限あり（計）』は、59.7%から63.5%へとやや多くなっている。

学校種別にみると、学校種が下がるほど『制限あり（計）』が多くなり、高校生の保護者では5割台半ば（54.4%）であるが、中学生の保護者では7割弱（68.9%）に増加し、小学生の保護者では7割台後半（76.5%）となっている。

図表Ⅱ-2-1-15 フィルタリングの利用（学校種別）

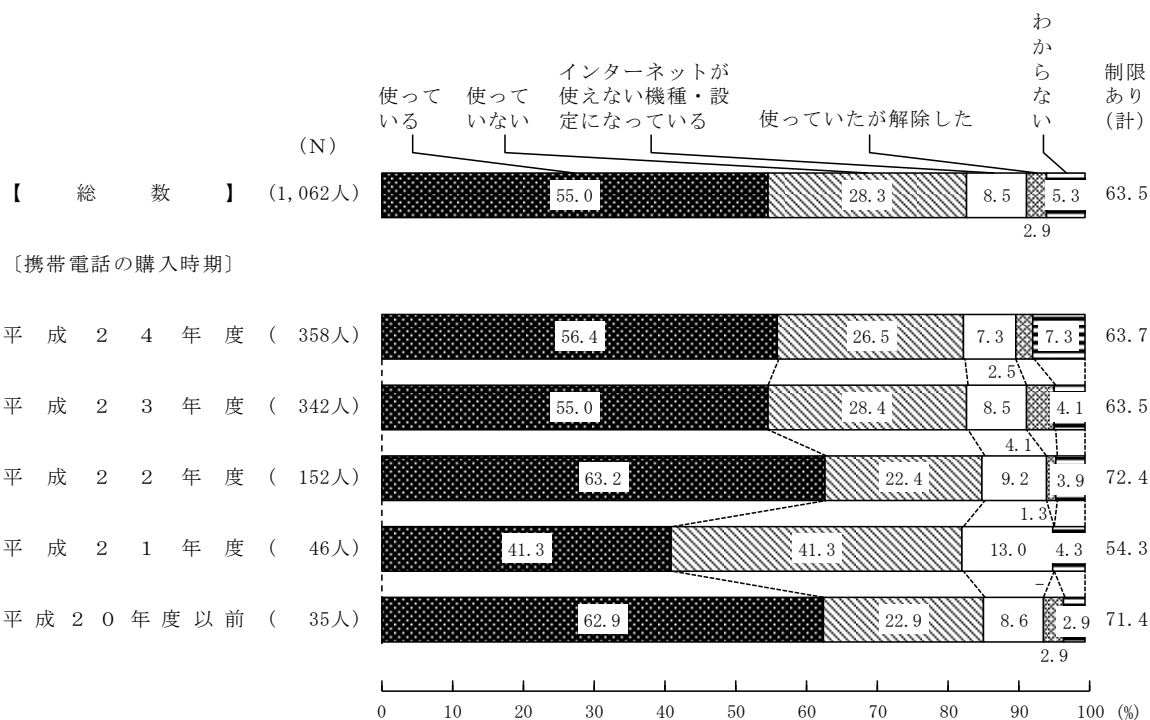
<Q1で「1」又は「2」と答えた方に>
 Q6 【回答票5】 ○○さんが現在持っている携帯電話にフィルタリングを使っていますか。この中から1つだけお答えください。
 調査員注：資料（〔回答票に掲載した説明文及び「フィルタリングのイメージ図」〕をしっかりと見てもらってから、回答してもらうこと）

（資料）フィルタリングとは・・・インターネット上の有害なサイト^注を見られないようにするための設定、いわゆる「有害サイトへのアクセス制限サービス（ウェブ制限・時間制限を含む）」のこと（「フィルタリングのイメージ図」含む）
 注）サイトとは、知りたい情報があるときに、アクセスしてその情報を調べたり見ることができるインターネット上の画面（ゲームや掲示板など書き込めるものも含む）を指す。



携帯電話の購入時期別にみると、フィルタリングを「使っている」は、平成24年度で56.4%、23年度で55.0%と、22年度（63.2%）より少なくなっている。「使っている」と「インターネットが使えない機種・設定になっている」を合計した『制限あり（計）』も同様に平成22年度は72.4%であるのに対して、23年度が63.5%、24年度が63.7%と少なくなっている。

図表Ⅱ-2-1-16 フィルタリングの利用（携帯電話の購入時期別）



*購入時期について

自分専用の携帯電話を持っていると回答（保護者票Q1=1）した中で、青少年の現在の学年（青少年票F3）と使い始めた学年（青少年票Q3ア・イ）から算出した。

インターネットに関する啓発や学習の経験の有無別（Q28）にみると、『制限あり（計）』については、学んだことがある保護者が65.0%で、特に学んだことはない保護者（54.0%）を11ポイント上回っている。

また、『制限あり（計）』は、高校生の保護者のうち学んだことがある保護者では5割台半ば（55.9%）であるが、中学生の保護者のうち学んだことがある保護者では約7割（70.3%）、小学生の保護者のうち学んだことがある保護者では約8割（79.9%）となっている。

図表Ⅱ-2-1-17 フィルタリングの利用（啓発や学習の経験別）

